

番号	28 - 34	申請者	臨床研究部長 前田 寧
<p>【審査申請課題】</p> <p>Leber's hereditary optical neuropathy (LHON)患者脳内ドパミン環境の機能的評価</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>Leber's hereditary optic neuropathy (LHON)はミトコンドリア遺伝子変異にて生じる視神経変性にて中心視野が失われる遺伝性疾患である。LHONには更にジストニアなどをはじめとする中枢神経症状を伴うLHON plusがあるが、ジストニアは錐体外路異常に由来すると神経学には考えられている。錐体外路は解剖学的には大脳基底核を中心とする複雑な神経ネットワークシステムが担っているが、そのネットワーク内におけるシグナル伝達物質としてドパミンといわれるカテコラミンが挙げられる。これまで、生体におけるドパミン産生神経(ドパミン作動性神経)の環境について評価できなかったが、日本では2年前より123I-ioflupane SPECT imaging (DaTscan®)にて安全に侵襲性保険診療の範囲で可能となった。よって、錐体外路症状(体幹ジストニア)を伴うLHON plus患者の脳内ドパミン環境をこの画像検査にて評価する検査を実施し、治療への手がかりとする。</p>			
審査結果	承認 (平成28年12月22日)		